

～ともに住み、ともに生きる～

NPO法人
西東京市多文化共生センター
2021(令和3)年度
年間活動の記録

2011(平成23)年に創刊した『多文化のわ』は、昨年、新たに「年間活動記録誌」との位置づけで再スタートを切り、本号はその2年目で2021(令和3)年度の活動を掲載しています。今回から、前号には掲載していなかった、年間を通して継続して取り組んでいる事業についても載せることにしました。

2021年度は、コロナ禍のため対面活動が大きく制限され、オンラインによる事業遂行が余儀なくされましたが、新しい技術の利点も見えてきました。また、新たに「Nともの会」活動をスタートさせ、若者主体の活動チーム「NIMIC Youth Club」を発足させた年でもありました。

ご一読いただき、私どもの活動について、一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

	ページ
表紙	1
● 地域に在住する外国人の支援	2
通年	外国人相談窓口「西東京市多文化共生センター」の運営
通年	通訳ボランティアの派遣
通年	「NIMIC 子ども日本語教室」の運営 お楽しみ会／修了式
2021. 9/ 4-	外国から来た保護者のための「小学校入学前説明会」
通年	市報抜粋「くらしの情報」の発行
通年	各種資料の翻訳
● 多文化理解の促進と交流	
2021. 6/27	留学生ホームビジット
2021. 10/ 3	西東京市 日本語スピーチコンテスト 2021
2021. 10/15-	世界ともだちプロジェクト
2021. 10/16	NIMIC Online Workshop 「水引アクセサリをつくろう」
2022. 3/26	「多言語で楽しく！」
通年	日本語交流プログラム「Nともの会」
● 活動の活性化・ネットワークづくり	
2021. 12/19-	日本語ボランティアフォローアップ講座 (入門講座&Nともの会)
2022. 2/ 2	日本語ボランティアフォローアップ講座 (日本語教室ボランティア)
2022. 2/14	日本語適応指導者研修会
2022. 3/ 5-	子ども日本語ボランティアフォローアップ講座
2021. 8/28	多文化共生講座「ヘンクさんが語る、知られざるオランダVol.2」
裏表紙	8

私たち NPO法人西東京市多文化共生センター (NIMIC) が取り組む「西東京市の多文化共生の推進」の各種事業は、右の三つの柱に大別されます。本誌では、各事業をその柱ごとに紹介しています。

地域に
在住する
外国人
の
支援

多文化
理解
の促進
と
交流

活動の
活性化
ネット
ワーク
づくり

また、それぞれの事業は、次の三つの事業形態で実施しているので、その事業形態も表示しています。

西東京市からの受託事業

西東京市 との 共催事業

NIMIC独自の 自主事業

【地域在住外国人の支援】

■ 外国人相談窓口「西東京市多文化共生センター」の運営

受託

通年（土日祝年末年始を除く）月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～16:00

外国人市民を対象にした日常生活に関する相談の行政サービス窓口で、NIMICが市の委託を受けて運営しています。

外国人の日常生活相談、外国人支援活動先の紹介等を、多言語（日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語）で行っています。タブレットを利用すれば15言語で相談が出来ます。

また、国際交流イベントその他多文化共生に関する情報提供も行っています。お気軽にお立ち寄りください。

【場 所】 〒188-0012 西東京市南町5-6-18イングビル1F
(西武新宿線田無駅南口徒歩2分)

【電話/FAX】 042-461-0381



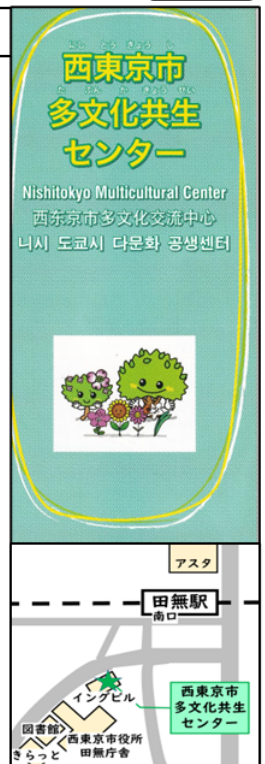
【相談実績】

外国人相談、17か国、102件、121名。

子どもの教育・進学関連、日本語教室の紹介、役所や学校からの文書の翻訳、など
日本人相談 60件、62名。

ボランティアスタッフを希望、
多言語対応依頼、など

その他、多文化共生に関する各種の取組みで、センターが利用されています。



■ 通訳ボランティアの派遣



受託

通年 市からの依頼を受けて 登録スタッフ 7か国語 32名

日本語が分からない外国人のために、市の行政機関・教育機関・福祉事業者等との間で行われる手続き・相談・面談に通訳を派遣しています。

派遣実績 19件（中国語11、英語 7、やさしい日本語 1）。

派遣先は、小学校16、中学校 3件で、主なものは、先生との面談、保護者会参加の補助でした。

■ 「NIMIC 子ども日本語教室」の運営

通年（学校の休み期間は除く）

小学部は 保谷第一小（毎週火曜）、谷戸小（水曜）、向台小（木曜）

中学部は ひばりが丘中（木曜）で開催。 それぞれ学習時間は 90分間。

在籍 小学生 3教室 計15人、中学生 9人。 スタッフ 小学部 計24人、中学部 13人。

日本語が理解できないために学校の授業について行けない子どもたちに、日本語の指導をして、授業を理解し学校になじむことを目的とした教室です。

一人ひとりの状況に合わせたマンツーマン指導で、小学部では、日本語の学習に加え季節の行事も紹介して、一緒に楽しんでいます。中学部では、他教科の学習も含め高校受験のサポートもしています。



● お楽しみ会 ・ ・ ・ 各教室で毎年末に実施しています

向台教室 2021.12.18（土）オンライン 参加 6名、スタッフ 9名

谷戸教室 2021.12.19（日）谷戸公民館 参加 4名、スタッフ 7名

中学部 2021.12.23（木）ひばりが丘中 参加 9名、スタッフ 9名

コロナ禍でしばらく個別のオンライン指導だったため、ゲームや歌を皆で一緒に楽しめたことがとてもうれしい、あっという間のひとときでした。（保一教室は実施しませんでした。）

中学部も、いつもは個人個人の勉強で静かな教室も、皆と一緒にゲームを楽しみ、たくさんの笑い声で溢れていました。



● 修了式 ・ ・ ・ 学年度末に卒業生を送り出します

谷戸教室 2022. 3.16（水）谷戸公民館 修了者 1名、保護者・スタッフ等 13名

向台教室 2022. 3.19（土）オンライン/センター 修了者 1名、保護者・スタッフ等 16名

中学部 2022. 3.24（木）ひばりが丘中 修了者 6名、保護者・スタッフ等 13名

小学部では、来賓とスタッフのお祝いの言葉、修了証と在籍中の写真やメッセージが詰まったアルバムの贈呈がありました。保護者からの感謝の言葉と修了生の旅立ちの言葉は、感慨深く胸が熱くなりました。（保一教室は、対象者がいませんでした。）

中学部でも、参加した6人の修了生がこれからの抱負を発表しましたが、みんな希望に満ちてキラキラ輝いていました。高校ではたくさんの人に出会い、自分の好きなことを見つけて頑張りたいと思います。



■ 外国から来た保護者のための「小学校入学前説明会」

2021.9.4(土) 10:00-11:30 オンライン 4名
 2022.1.16(日) 10:00-11:30 オンライン 5名

自主
共催

来年小学校に入学する子供がいる保護者を対象に、日本の学校事情や準備しなければならない学用品など、写真を多用して具体的な情報を提供、「よく分からない」を解決します。
 1月の回から市との共催となり、他地区の多文化共生関係者が見学にきました。
 外国から来た保護者には必要不可欠な内容なので、ひとりでも多くの方に参加していただきたいと思っています。

オンライン
ONLINE

外国から来た保護者のための
小学校入学前説明会

日本の小学校ってどうなのかな? 何がいるの? 必要な?
 保護費・給付金とは何が違うの?
 「よくわからない」を一緒に解決しましょう。

日時: 2022年9月4日(土) 10時00分~11時30分
 場所: オンライン(ZOOM)
 対象: 4月に小学校に入学する子どもがいる保護者

申し込み方法
 ZOOMのQRコードにアクセスして、
 申し込んでください。
info@inacenter.com

2022年11月16日(日)に英語(小学生の持ち物等)の
 開催を予定しています。

問合せ連絡先: NPO法人西東京市多文化共生センター(NIMCC)
 住所: 042-4613-0381 Mail: info@inacenter.com
 月~金曜日 10:00-16:00
 主催: NPO法人西東京市多文化共生センター

■ 市報抜粋「くらしの情報」の発行

通年 作成スタッフ(翻訳・リライト・編集等)計25名

西東京市市報の中から、外国人の皆さんに必要な記事を、やさしい日本語・英語・中国語・韓国語に翻訳して、毎月600部作成しています。
 市役所、公民館・図書館などの公共施設や市内の日本語教室等で配布しています。

受託

Nishitokyo Newsletter

新型コロナウイルス感染症の予防
 予防接種の重要性
 予防接種の種類
 予防接種の場所
 予防接種の費用

新型コロナウイルス感染症の予防
 予防接種の重要性
 予防接種の種類
 予防接種の場所
 予防接種の費用

新型コロナウイルス感染症の予防
 予防接種の重要性
 予防接種の種類
 予防接種の場所
 予防接種の費用

新型コロナウイルス感染症の予防
 予防接種の重要性
 予防接種の種類
 予防接種の場所
 予防接種の費用

■ 各種資料の翻訳

通年 市からの依頼を受けて 登録スタッフ22名

市から依頼された資料の翻訳を行っています。
 翻訳実績 2件。「ファミリーサポートセンターのしおり」追加部分、「臨時特別給付金」関連ちらし

受託

【多文化理解の促進と交流】

■ 留学生ホームビジット

2021.6.27(日) 10:00-11:30 オンライン 留学生 8名(3大学、7か国)が7家庭に

近隣大学の留学生が地域の家庭を訪問する「留学生ホームビジット」、14回目の今回はコロナ禍のため初めてオンライン訪問となりました。
 留学生は日本の家庭と交流でき、受入れ家庭は異文化を体験できる貴重な機会です。そこに楽しい多文化理解が生まれます。
 参加者全員の自己紹介と、多言語挨拶や方言を使ったアイスブレイクの後、受入れ家庭ごとに小部屋に分かれて交流しました。個別の交流が今後も続くことを願います。



共催

■ 西東京市 日本語スピーチコンテスト 2021

共催

2021. 10. 3 (日) オンライン 観覧者37名、審査員等 5名
対面 (センター) 発表者 7名

新型コロナウイルス感染急拡大を受けて、イングビルの西東京市多文化共生センターからZoomによるオンラインライブ配信での開催となりました。

西東京市とかかわる外国の方が、日本で生活して感じたことや考えたこと、母国への思いを日本語でそれぞれ熱く語り、西東京市長賞、武蔵野大学学長賞、NIMIC賞が選ばれました。

市内外からの観覧者が熱い視線で視聴され、コンテストを盛り上げていただきました。

「一生懸命日本語で想いを表現する姿に感動した」などのコメントが多数寄せられました。



■ 世界ともだちプロジェクト

受託

2021. 10. 15から 2022. 3. 17まで
本町小・田無小・谷戸二小・栄小・東伏見小・田無三中・住吉小・
柳沢小・谷戸小の9校、28クラスで実施

2020オリパラを機に、世界の様々な人種や言語・文化・歴史などを学ぶことを通して、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解するという東京都の取組みで、西東京市では市からの委託を受けて



NIMICが実施しました。
2021年度は市内在住のイギリス・オランダ・韓国・中国出身の方を講師に、各国の暮らしぶりを紹介したり、子どもたちからの活発な質問に答えたりで、楽しい交流ができました。

後日届いた子どもたちの感想文からも、楽しい発見や驚きがあり、様々な気づきがあったことがうかがえました。



■ NIMIC Online Workshop 「水引アクセサリーをつくろう」

自主

2021. 10. 16 (土) 10:00-11:30 オンライン 参加者 7名

コロナ禍で対面でのイベント開催が制限されたので、オンラインで、水引を結んでアクセサリーをつくる外国人向けワークショップを開きました。

社会的に孤立する人が増えている中、水引がもつ「人と人の絆や縁」をモチーフとして、あわじ結びのアクセサリーを作りました。講師が画面越しに作り方をアドバイス。うまく作れた人もいれば、細かい手作業に苦戦する人もいました。お互いに作品を見せ合い、歓談した、楽しいひと時でした。



■ 「多言語で楽しく！」

2022. 3. 26 オンライン 参加者22名、講師 3名

コロナ禍のためオンライン開催となり、従来の対面イベントを画面越しで再現できるよう企画し、ゲームや歌などで盛り上がりました。言語は英語のみでしたが、講師陣の努力と工夫で子供達の笑顔と発言を引き出していました。

限られた状況においても多言語コミュニケーションの楽しさを感じることは子供にとって良い経験です。



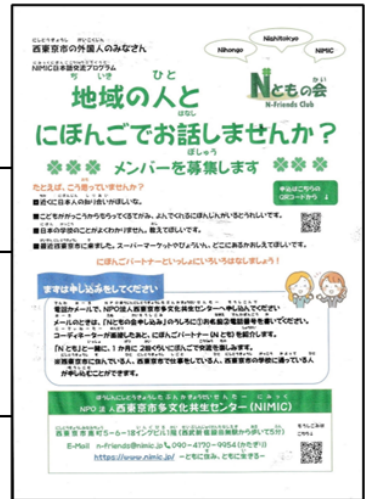
再び対面イベントを実現できる状況になることを願います。

■ 日本語交流プログラム「Nともの会」

自主

通年 2021. 8から活動開始。 市内各所で実施。
Nとものペア 8組、のべ50回活動。

日本人メンバーと外国人メンバーがペアとなり、ふたりで都合の良い日や場所を決め、月に2回程度、日本語で交流するプログラムです。市内の公共施設やカフェ、公園などお互いの関心事を話し合ったり、一緒にどこかに出かけたりするペアが多いようです。



【活動の活性化・ネットワークづくり】

■ 日本語ボランティアフォローアップ講座(入門講座受講者&Nともの会メンバー対象)

受託

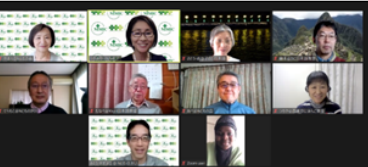
2021. 12. 19 (日) コール田無 参加者15名、事務局 4名

今年度の「日本語ボランティア入門講座」受講者と、「Nともの会」の外国人メンバーが、お互いの活動内容を紹介しあいながら、楽しく交流しました。

「顔合わせができてとても嬉しかった。他の教室の様子がわかり参考になった。」「ゲームが楽しかった」などの感想がありました。



2022. 3. 27 (日) オンライン 参加者 7名 事務局 4名



前半は、防災についてやさしい日本語を使ったOXクイズを出題。楽しく学ぶことができました。後半は、日ごろの日本語活動について、それぞれがどのような工夫をしているのか、グループに分かれて話し合いました。

参加者からは「これまでは、これでいいのかなと思いながら自分流でやっていたのですが、他の皆さんのやり方や考え方、また教わる側の外国の方々のお話も聞いて、大変参考になりました」という声が寄せられました。

■ 日本語ボランティアフォローアップ講座（日本語教室ボランティア対象）

受託

2022. 2. 2（水）オンライン 13名受講

「日本語ボランティア 困ったときどうする？」。参加者どうして今の悩みを共有し、講師からアドバイスを受け、いくつか実践的な学習例を学びました。また、マスクをして話すときの注意や、オンライン教材と著作権についても知ることができました。
「ボランティアは学習者ができないことを代わりにするのではなく、学習者が一人でできることを増やすこと」という講師のことばが印象に残りました。

日本語ボランティアフォローアップ講座

日本語ボランティア
困ったときどうする？

お名前の後に所属を入れてください
午後2時開始までお待ちください



■ 日本語適応指導者研修会

自主

2022. 2. 14 オンライン 13名受講

外国につながる子どもが日本語で学校生活を送り、日本語で学習できるよう支援している日本語適応指導者は、教育委員会から派遣され市内の小中学校で個別に指導しています。
日頃の悩みやいろいろな工夫、テキスト・教材、保護者や担任との連絡など、さまざまな話題で情報交換をして、ふだんは個々に指導に当たっていますが、みんなで力を合わせてやっていこうと確認できた研修でした。

適応指導者等研修会

2022.2.14 15:00-16:30

・本日の流れ

- ①自己紹介（名前＋趣味特技1つ）
- ②情報交換（1）30分
テキスト・教材 / 保護者との連絡
- ③情報交換（2）30分
日本生まれ日本育ちの子ども / 他
- ④事務連絡など

※休憩なし



■ 子ども日本語ボランティアフォローアップ講座

受託

2022. 3. 5（土） オンライン 2回シリーズ 各回 8名受講
2022. 3. 12（土）

外国につながる子どもの中には、日常会話はできて、教科学習に困難を感じている子どもがいます。そういう子どもの言葉の力を把握し、どのような学習支援が必要かを検討するツール「DLA」を使って、「話す・聞く・書く・読む」の4技能について、参加者全員で診断・評価をし、指導計画を考えました。
「実際にやった貴重な体験が良かった。」「グループでの意見交換で、いろいろな見方があるのだと思った。」などの感想がありました。一人ではなく、複数の目で子どもを見ていくことが大切だと学びました。

◆外国人児童生徒の総合的学習支援事業◆

外国人児童生徒のための
JSL対話型アセスメント

DLA
Dyadic Language Assessment
for Japanese as a Second Language



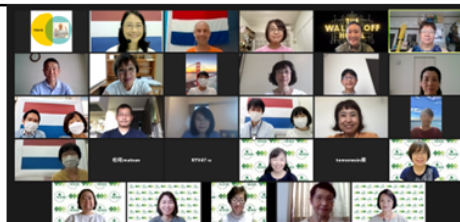
文部科学省 初等中等教育局国際教育課

■ 多文化共生講座「ヘンクさんが語る、知られざるオランダVol. 2」

受託

2021. 8. 28（土） 10:00-11:30 オンライン参加者15名

オリパラ2020、オランダのホストタウンである西東京市の委託事業です。
オランダ出身で西東京市在住のヘンクさんを講師に、オランダの伝統的な食べ物や世界遺産に認定されているアムステルダム古い建築物の写真を見て、想像したり自由な意見を出し合い、日常生活や歴史を学びました。



※ NPO法人 西東京市多文化共生センター (NIMIC) は、

「ともに住み、ともに生きる」をキャッチフレーズに、異なる背景を持つ人々が、互いの違いを理解し尊重し合って、ともに地域で暮らす「多文化共生」のまちづくりを目指しています。

「外国人にとって住みやすいまちは、みんなが住みやすいまち」と考え、外国人支援、交流の場づくり、受け入れる地域社会の啓発活動を行っています。

■ 詳しくは、
ホームページで



NIMICの会員 になりませんか？

多文化共生活動に取り組んでみたいと思われる方、ぜひ私たちと共に考え、行動してみませんか。あなたのご参加をお待ちしています。

○会員になると

- ・各種イベントに実行委員として参加できます
- ・興味ある活動、新しい活動を始めることができます（理事会承認が必要）
- ・メールマガジン「NIMIC通信」、年間活動記録誌「多文化のわ」を受け取ることができます

何より楽しい仲間・親しい友人が増えます！ 世界が広がります！

○会員になるには、「入会申し込み」と「年会費の納入」が必要です。

「入会申し込み」は ホームページから、または西東京市多文化共生センターまで。

「年会費の納入」は ホームページから、または新規入会者宛て個別にご連絡します。

【年会費】 個人会員 2,000円、学生会員 1,000円、家族会員 3,000円。

★学生主体のチーム「NIMIC Youth Club」や、土・日・祝日だけ活動するチーム「土日プロジェクト」があります。 イベント開催当日だけのボランティア参加制度もあります。詳しくは、ホームページからお問い合わせください。

● SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

NIMICは、活動理念に基づき、行政や他団体とのパートナーシップを通じて、地域における外国人生活支援など、異なる文化的背景を持つ人々誰もが、共に地域で快適に暮らせる「多文化共生社会」の実現により、持続可能な開発目標(SDGs)3、4、5、10、11、16、17の達成に貢献することを目指します。



※ 会員にならなくても、メールマガジン「NIMIC通信」の配信を受け、タイムリーにイベント情報を得ることが出来ます。右のQRコードから、お申込みいただけます。



年間活動記録誌「多文化のわ」2021年度版
2023(令和5)年3月25日発行

編集・発行

NPO法人 西東京市多文化共生センター
〒188-0012 西東京市南町5-6-18
インゲビル1F



E-mail: info@nimic.jp

ホームページ: <https://www.nimic.jp/>

Facebook: www.facebook.com/nimic.nishitokyo